

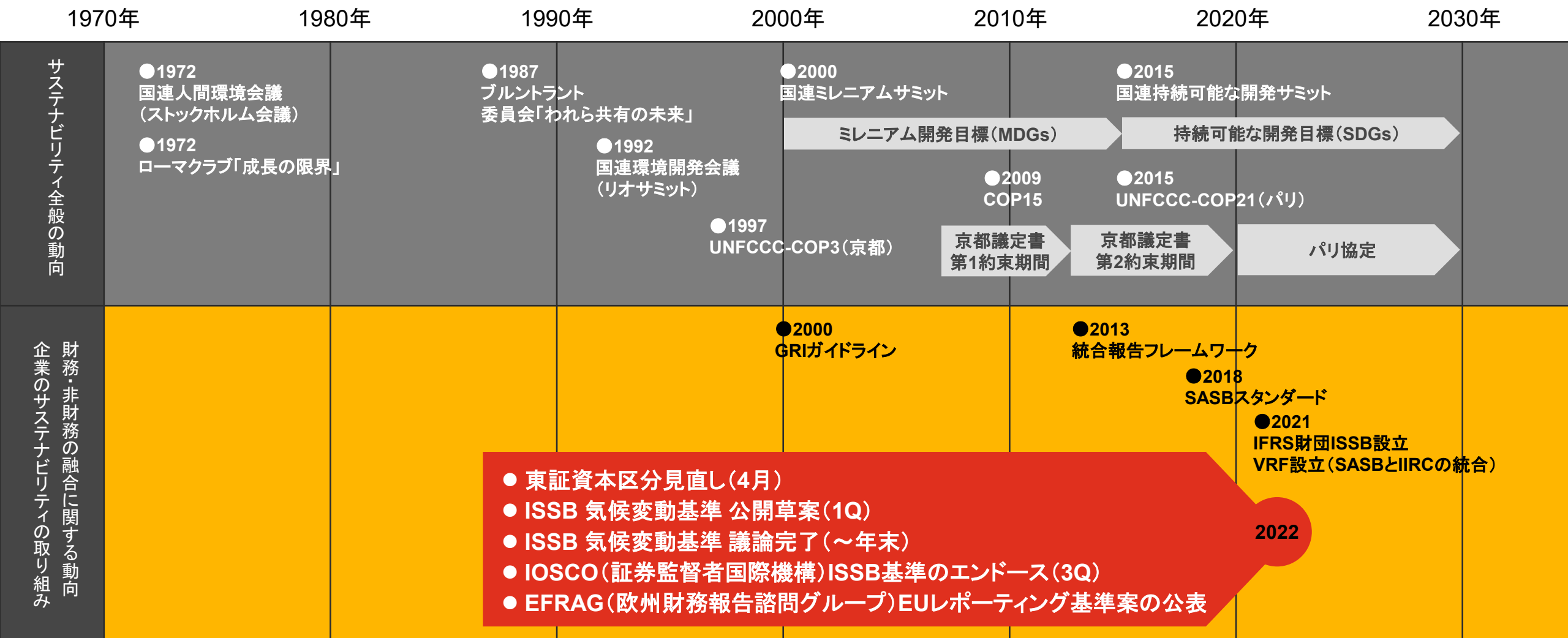
経営層向けセミナー サイバーセキュリティ対策による企業価値の 拡大に向けて

ESG情報開示とサイバーセキュリティ

PwCあらた有限責任監査法人
サステナビリティ・アドバイザリー部
パートナー 田原 英俊



非財務情報開示基準を取り巻く動向(1/2)



非財務情報開示基準を取り巻く動向(2/2)

二大基準への収斂(国際会計基準とEU報告基準)

IFRSサステナビリティ開示基準

- 国際財務報告基準を策定するIFRS財団が、国際サステナビリティ基準審議会(ISSB)を設立し、国際的なサステナビリティ報告基準を策定中
- ISSB設立を受けて、国際統合報告協議会(IIRC)およびサステナビリティ会計基準審議会(SASB)がValue Reporting Foundationとして合併した。VRFとCDSBは2022年6月にIFRS財団に吸収され、既存のIIRC、SASBの基準がISSBの重要な要素になるものと考えられる。2023年6月末までにサステナビリティ全般および気候関連基準が公開される。

シングルマテリアリティ

VRF(IIRC/SASB)/CDSB

欧州サステナビリティ報告指令(CSRD)／ 欧州サステナビリティレポートングスタンダード

- 従業員250名以上の大企業およびEUの規制市場に上場を対象とした非財務情報開示規制であり、従来のNFRDで要求された環境保護、労働環境、人権の尊重、贈収賄防止に加えて、重要課題決定のプロセス(マテリアリティ分析)などの開示が新たに求められる。
- 欧州財務報告アドバイザリーグループ(EFRAG)が主導しGRIからの協力のもとタスクフォースが設立され、欧州レポートングスタンダード(ESRS)が準備されている。

ダブルマテリアリティ

GRI/EFRAG

SEC

- SECは2020年にRegulation S-Kのもとで人的資本マネジメントの開示を義務付け。さらには気候とESGタスクフォースが立ち上げられ、気候関連リスクの開示におけるギャップ分析が実施されている。

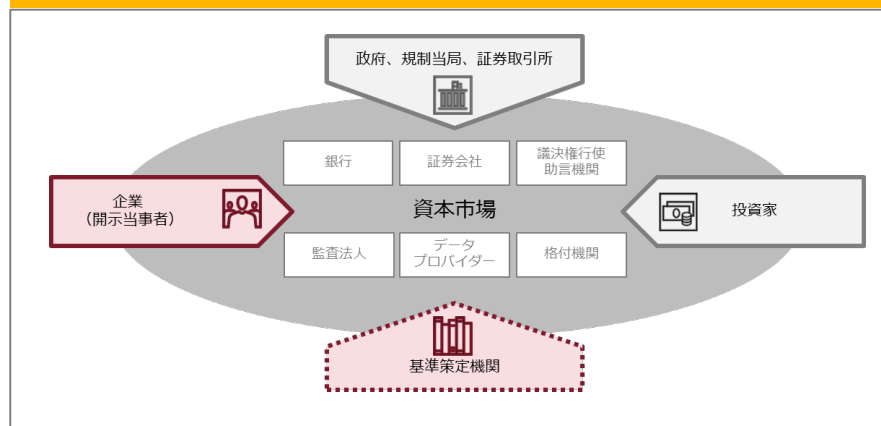
WEF

- 世界経済フォーラムの国際ビジネス委員会、株主資本主義ではなく「マルチステークホルダー資本主義のための測定指標」を発表。産業界自らが、人、繁栄、地球、ガバナンスの4つの側面から企業のパフォーマンスを測定し、開示することを提唱。

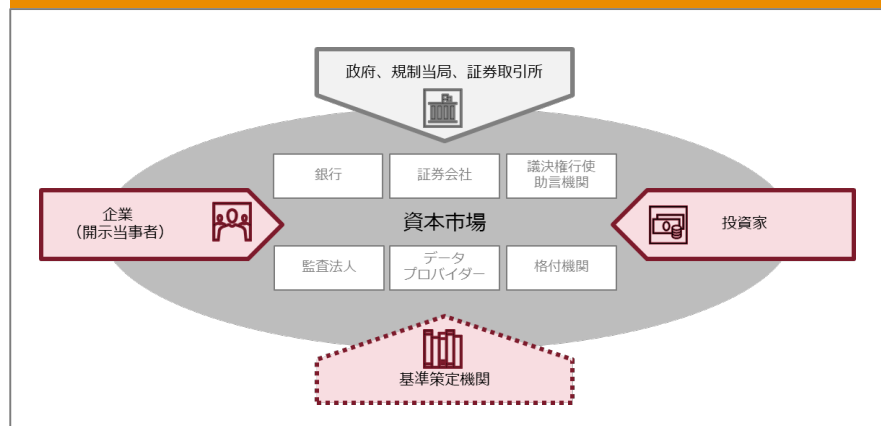
サステナビリティ情報開示の主要プレイヤーとその関係

財務と非財務の融合／マルチステークホルダーから投資家向け開示へ

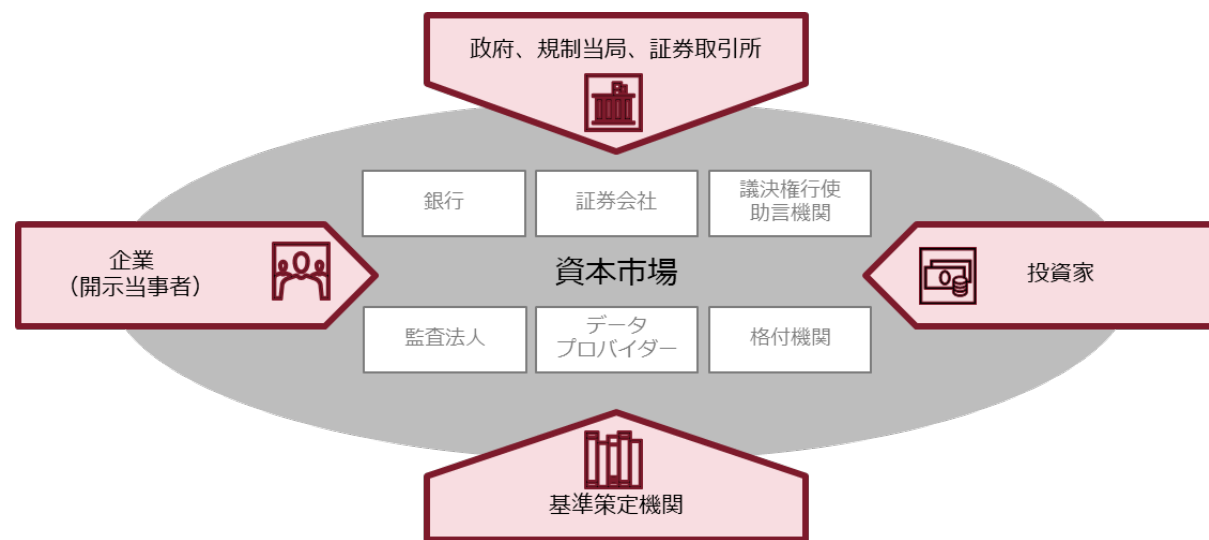
マルチステークホルダー開示: 1990年代～2000年代



ESG投資／統合報告: 2010年代



財務・非財務の真の統合に向けて: 2020年代以降



- 財務報告と統合された真の意味での財務・非財務の融合 (IIRCとSASBのVRFへの統合、VRFのISSBへの統合)
- 規制当局や証券取引所による上場企業への期待の明確化

ESG情報開示における情報セキュリティ／サイバーセキュリティ

S&P CSA(Corporate Sustainability Assessment)における評価項目

IT Security/ Cybersecurity Governance	サイバーセキュリティ戦略における取締役会の責任
	サイバーセキュリティを監督するための経営層の責任
IT Security/ Cybersecurity Measures	情報セキュリティ／サイバーセキュリティに関する方針
	疑わしい事例があった場合のエスカレーションプロセス
	従業員の業績評価への反映
IT Security/ Cybersecurity Process & Infrastructure	事業継続計画
	外部認証取得
	脆弱性分析
IT Security/ Cybersecurity Breaches	インシデントと違反の件数
	保険

PwCが実施した調査

国際会計基準への準備状況の調査

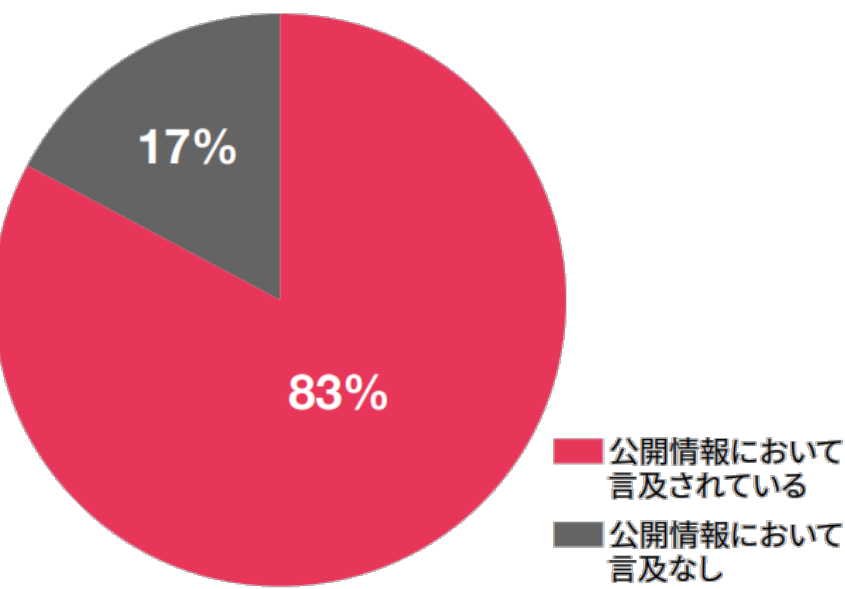


サステナビリティ情報開示の転換期	
調査対象	TOPIX100
調査内容	SASB基準の産業別開示要求項目に対して日本企業はどれだけ開示できているか？
調査目的	SASB基準への適応状況を調べることで将来のIFRSサステナビリティ開示基準への準備状況を把握する

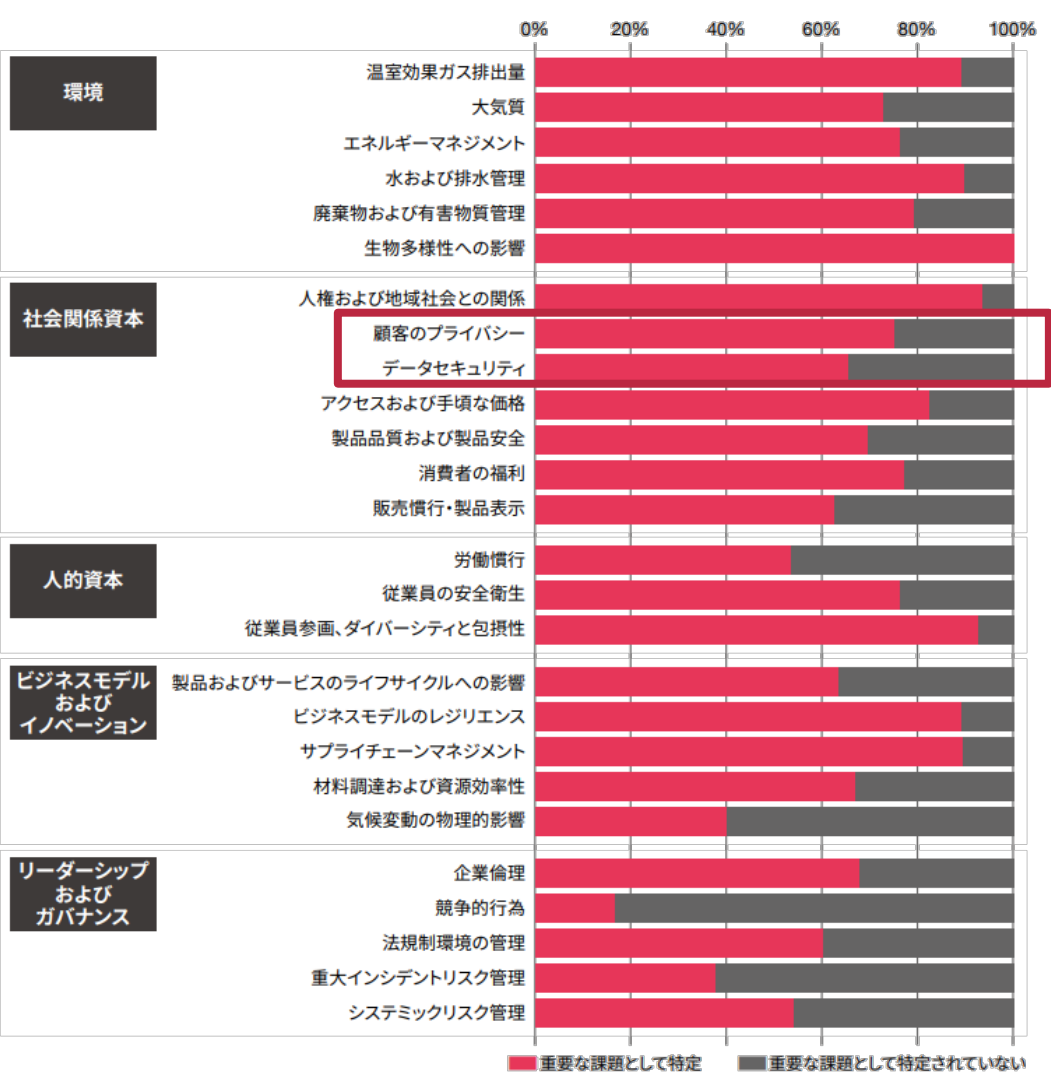
SASB基準適用調査：国際会計基準対応への準備状況(1/3)

SASB基準の開示トピックと各社のマテリアリティ分析(重要課題)の比較

TOPIX100各社のレポートにおいてインダストリー別
開示トピックに言及されている割合

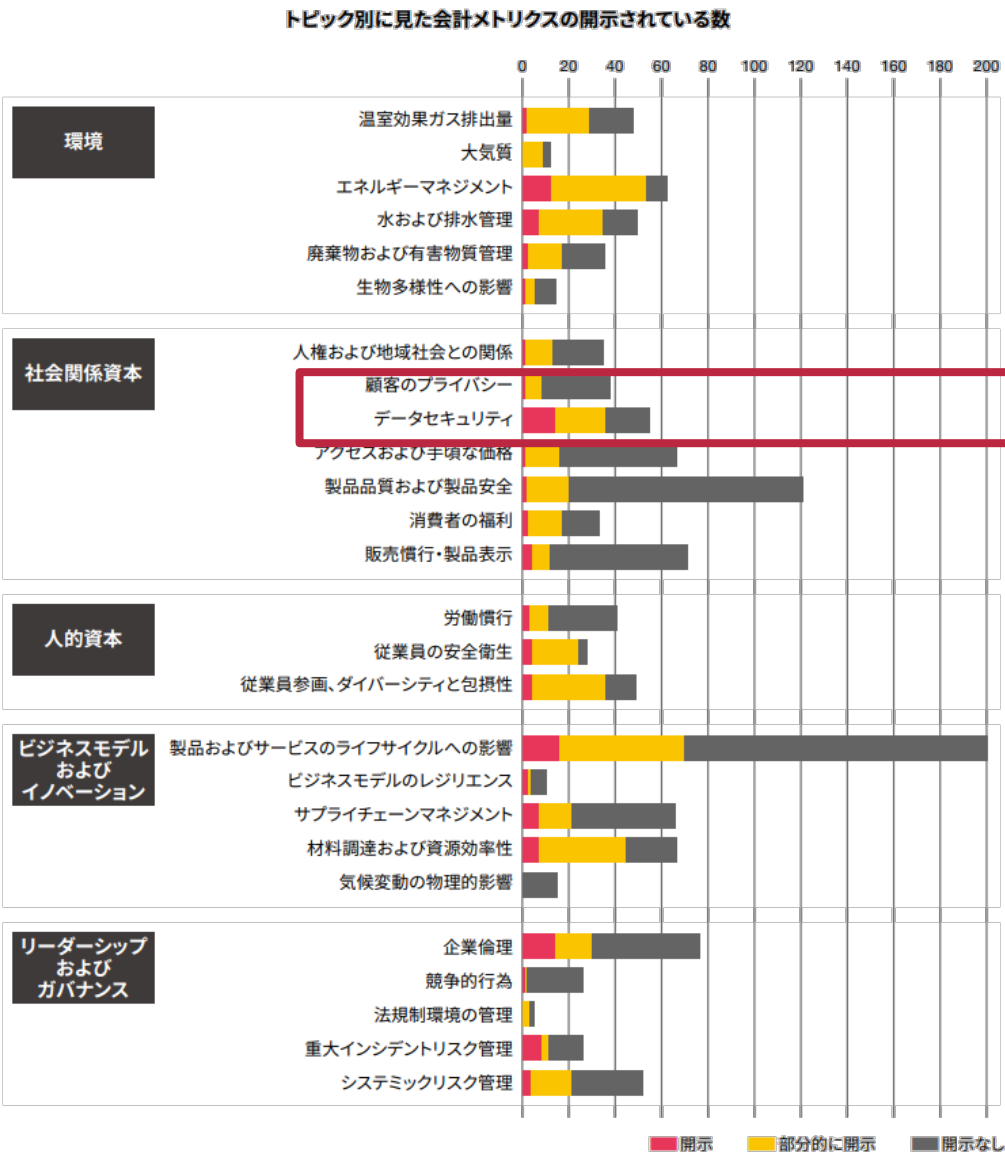
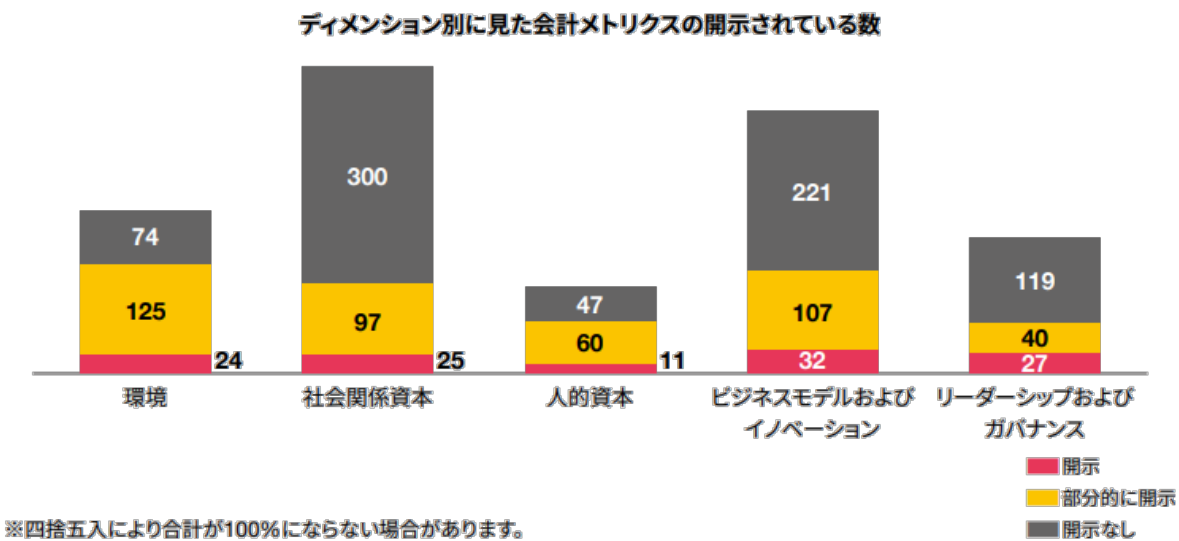
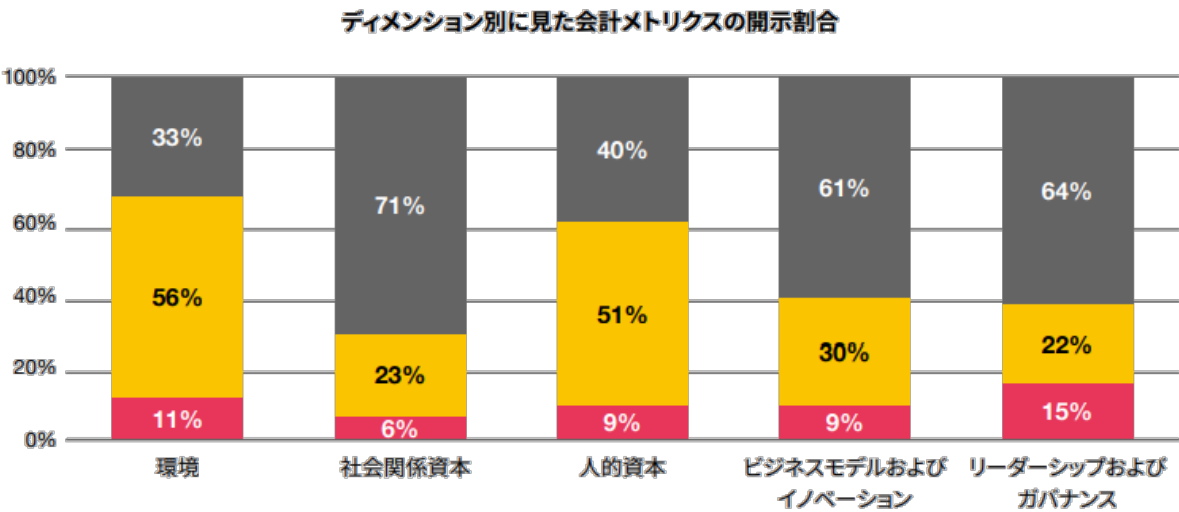


開示トピックごとに重要な課題として特定された企業の割合



SASB基準適用調査：国際会計基準対応への準備状況(2/3)

会計メトリクス開示状況(2/2)



SASB基準適用調査：国際会計基準対応への準備状況(3/3)

産業毎の違い

	消費財	採掘・鉱物加工	財務情報	食品・飲料	ヘルスケア	インフラストラクチャー	資源の変換	サービス	テクノロジー&コミュニケーション	運輸
温室効果ガス排出量	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●
大気質	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
エネルギーマネジメント	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水および排水管理	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃棄物および有害物質管理	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
生物多様性への影響	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
人権および地域社会との関係	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
顧客のプライバシー	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●
データセキュリティ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アクセスおよび手頃の価格	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●

75%以上の会計メトリクスが
● 開示または部分的開示
されている

50～75%の会計メトリクスが
● 開示または部分的開示
されている

25～50%の会計メトリクスが
● 開示または部分的開示
されている

25%以下の会計メトリクスが
○ 開示または部分的開示
されている

● 該当する会計
メトリクスなし